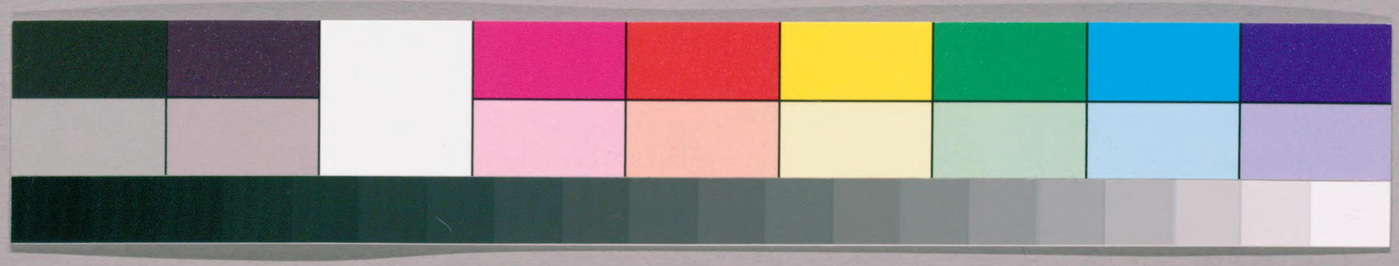

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

27. 6. 17

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

十七ノ八十二 第三 棚

享保日記

806
21

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

公意
御加仍
上意

御法変　御紙
洋服物　御威
御用聞　主馬
御服　　官位
屋敷惣而之　添但
聲掛子　　嫡子
相続　　遣願

舊幕引継書

上覧
御門跡方
靖御用
帰府
屋敷等
少将子

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

諸所禮　元服　齋日月次　忌在
御内書　御条所　御祈祷　清書有
御馬　　親　　進達　　乞取者
病氣之節　洋信　　御免
上使　　招請　　日光法門跡　　招上寺
泊瀬　　出火　　使者　　渉左中
雑　　　　　　　　　　下手代

享保十六年

一 五月十一日 大納言様御神前之事
一 同廿日 公方様御風気有 右之為御祈誓使 御同人之事
一 二月廿日 公方様御風気 右之為御祈誓使 御同人之事
一 二月十一日 高次様御煩御祈誓使 御同人之事
一 二月廿日 公方様御不快 右之為御祈誓使 御同人之事
一 三月六日 八講之儀御祈誓使 御同人之事
一 四月十一日 於禁中御祓之事
一 七月七日 御同意之御祈誓使 御同人之事
一 八月十日 御暑気御不快 右之為御祈誓使 御同人之事
一 九月十日 御生母様御月忌之為御祈誓使 御同人之事
一 九月十日 御移徙之事

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十一月二日　将軍宣下勅使武家伝奏
一十二月十五日　大御所様　大納言様へ勅使勝手
（延享三寅）
一正月廿一日　大納言様へ中宮院より出御
一十月十九日　御判物　御朱印ノ儀ニ付
一十月十五日　右同断
一十二月十五日（文化九申）　大御所様へ床掛出来
一八月十五日　御祭ニ出御無之事
一十月廿日　右同断
一十月二日（文政十亥）　御乳信君様へ出来ニ付
一正月廿八日（寛延二己）　月次ニ付無之公仕之方ニ付事
一三月九日　五十宮様御名乗之事
一十月廿日（文政十三年）　月次ニ付無之公仕之方ニ付事
一二月廿日　公方様へ御賀ニ付
一五月廿日　月次ニ付無之公仕之方ニ付事
一五月二日（文化十酉）　大納言様へ御祝ニ付
一七月十一日（寛保二戌）　御七夕ニ付
一七月十日　右同断
一十月廿二日　大納言様へ御祝ニ付
一十月十五日　右ニ付御祝ニ付
一十二月十日　御乳信君様へ御祝ニ付
一十二月十八日（文化二丑）　大納言様へ御祝ニ付
一正月朔日　大納言様へ御祝ニ付

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一正月廿八日　大納言様今日ゟ出御之事
一二月十一日　大納言様ゟ御使を以御祝詞被仰越之事
一二月十四日　西丸ゟ為御成太刀御出仕之事
一三月六日　大納言様ゟ御養子被仰越之事
一三月十七日（享保十七壬子年）　西丸ゟ為御成御出仕之事
一四月廿日　公方様御元服ニ付　出御之事
一六月廿三日　大納言様ゟ御借用ニ付御使を以御祝詞被仰越之事
一十二月廿日　大納言様御病ニ付御使を以御祝詞被仰越之事
一十月十五日（享保十六辛亥年）　紀伊国正迂院ゟ御養子ニ付　出御之事
一七月廿日　御簡刀御養子ニ付御使を以御祝詞被仰越之事
一七月廿四日　旗本様御誂ニ付御使を以御祝詞被仰越之事
一七月廿七日　千代姫君様御生誕ニ付御祝詞被仰越之事
一十月廿二日　千代姫君様御宮参ニ付御祝詞被仰越之事
一閏十月六日　千代姫君様御宮参ニ付　出御之事
一十二月六日（享保十七壬子年）　御風気ニ付　出御被為遊御延引之事
一七月十八日（享保十八癸丑年）　御風気ニ付　出御被為遊御延引之事
一二月廿三日　寛永十五
一閏十二月　九月廿三日　元服十
一四月十八日　御祝詞
一閏十二月十二日（享保十七壬子年）　水戸殿ゟ御祝詞
一六月四日　竹姫様御祝詞

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保十七壬子
一十二月十日　門法之稟
享保十八癸丑
一四月廿二日　利服拝賀御礼
一十一月廿二日　御入稟
享保十九甲寅
一二月廿日　大納言様御逝去

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保十六亥
一正月九日　御弓始有之事
　　延享元子
一三月六日　御拳之席始有之事
一十二月廿七日　御拳之席始有之事
一十二月廿二日　右同断
一十月廿六日　御弓始有之事
　　延享元子
一九月十一日　日光御宮御霊屋正辻宮正辻宮薨去ニ付為御悔人御使
　　延享二丑
一二月十六日　於禁中御男子様御誕生ニ付為御悔人御使
一九月廿日　右大将様御改名ニ為御悔御使被遣候事
一九月廿六日　御代替ニ付御暇被下候事
一二月廿二日　御法会ニ付御香奠被遣候事
一三月廿一日　正辻宮相果ニ付御悔御使被遣候事
一九月十八日　御法会ニ付御香奠被遣候事
一六月廿日　朝鮮人来聘ニ付御使被遣候事
一六月二日　右ニ付為御出仕之事
一十二月廿四日　流罪人中御赦免ニ付為御悔御使被遣候事
　　宝暦二申
一九月廿日　二条御天守堂上ニ付御使被遣候事
　　宝暦二申
一十月廿六日　大納言様御薨去ニ付為御出仕之事

一十月廿六日　大納言様御方御局へ御出仕の事
（宝暦二酉）一二月六日　大納言様御産後御祝儀として御出仕の事
一六月二日　月光院殿御逝去に付御出仕の事
一十月二日（りやく戌）一六月廿日　大納言様御方御局へ御出仕の事
一二月廿六日（りやく子）　御産中様御安全に付御出仕の事
一七月廿三日　千代姫君様御七夜に付御出仕の事
一八月二日　千代姫君様三日産に付御出仕の事
一九月六日　千代姫君様御祝儀として御出仕の事
一正月七日（りやく七戌）一二月廿日　千代姫君様御宮参りとして御出仕の事

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一 延享元子
二月十九日　年号改元ニ付恐出仕事

一 延享丑年
三月廿二日　立坊相除ニ付恐出仕事

一 宝暦五亥
九月廿八日　御昇位相除ニ付恐出仕事

一 宝暦五亥
十一月廿日　楽喪御水被遊御免ニ付恐出仕事

一 宝暦五亥
十二月二日　女御入内相除ニ付恐出仕事

一 宝暦二年
四月廿八日　仙洞院御所ニ付恐出仕事

宝暦二年
七月十八日
土用入ニ付三日

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

寛永十五四忌　正保元申十三四忌　兼慶元子十七四忌　寛文四三十三四忌　天和元五十四忌

明暦三年七四忌　寛文三年十三四忌

寛文七年十七四忌　延宝三年廿五四忌　天和三年三十三四忌

元禄十三年五十四忌　寛文三年百四忌

寛政十二年百五十四忌

貞享三年七四忌　元禄九年十七四忌　元禄五年十三四忌

元禄十三年二十一四忌　宝永二年三十三四忌

延宝三年廿五四忌　天和三年三十三四忌

享保十一年二十一四忌

享保十二年百四忌　天明元年百五十四忌

大猷院殿

寛文七年十七四忌

延宝三年廿五四忌

元禄十三年五十四忌

寛政十二年百五十四忌

常憲院殿

延宝八年青宝永元年二十五四忌

享保十四年五十四忌

有徳院殿

元禄九年十七四忌　元禄五年十三四忌

元禄十三年二十一四忌　宝永二年三十三四忌

享保十四年五十四忌

文昭院殿

延享元子一十月十九日

寛延二年一十月廿一日

宝暦二申一十月廿二日

大猷院殿

寛延二年一十月廿一日

宝暦二申一十月廿二日

常憲院殿

宝永六年二月廿六日

有徳院殿

宝永六年二月廿六日

文昭院殿

一十月六四

月光院殿

一二月廿四日之酉

天英院殿

一十月六四

月光院殿

一二月廿四日之酉

天英院殿

一十月六四

古章法院殿

古章法院殿

古章法院殿

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

享保十八丑
一十月 廿日 御座中様御遊玄分恐出仕ル事
延享二丑
一霜月十七日 利根船着様御遊玄分恐出仕ル事
閏五辰
一二月廿七日 御船座様御遊玄分恐出仕ル事
宝暦二申
一六月廿六日 有徳院様葺売御分恐出仕ル事
一九月廿日 月光院様御遊玄分御供仕ル事
閏三酉
一十二月十日 小五郎殿遊玄分御供仕ル事
一十二月十日 小江戸殿遊玄分御供仕ル事
閏七丑
一廿七日 千代姫君様御遊玄分恐出仕ル事

延享二丑
一二月廿二日 八講法務始
一八月二日 浄岸院様十三回御忌法事
延享二乙
一十月三日 月光院様御忌法事
宝暦三酉
一十月二日 月二十二回御忌法事
延享二丑
一八月廿日 陽徳院様三十三回法忌法事
閏三乙
一六月廿日 浄岸院様二十一回法忌法事
一七月廿一日 随性院様法事
一九月廿日 元浄院様二十七回御忌分御供仕ル事
宝暦二申
一九月廿日 月二十三回法忌分御供仕ル事
延享四卯
一二月廿日 天英院様七回御忌法事

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十二月十日　又依院拠五十四度参内法事
寛延元年未　
一八月廿九日　沙通院拠一百五十四度参内法事
一十二月二日　實相院拠百四度参内法事
一十二月廿日　常寧院拠百四度参内法事
寛保二酉　
一四月十日　有栖川宮拠仁孝王御参代
一六月二日　明信院拠五十四度参内法事
一六月九日　寛法院拠二十三四度参内法事
一六月廿日　陽春院拠十七四度参内法事
一八月廿五日　桂昌院拠五十四度参内法事
一九月廿二日　清泰院拠百四度参内法事

寛文五乙巳年
四月十七日　東照宮五十四度御勅會
寛文元年二月廿二日　御部屋拠　忠心院殿薨去
同　三年二月廿二日　安永元年
三四度参内
寛保二年二月廿二日　同九年
七四度参内　辛三四度参内
同十一年　寛文改元年
十二四度参内　五十四度参内
明和元年
十七四度参内
明和二年
辛二四度参内

元和八戌七四度参内　寛永四卯十三四度参内　寛永九申十七四度参内　同十三子二十四度参内　同十七辰二十五度参内　安永元年二十三四度参内

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一 正月廿八日　台徳院様百回御忌御法事相調候ニ付
　　御年賀御登城、公方様御焼香ニ而
　　八講御聴聞
　右同断
一 三月廿一日　大御所様御焼香ニ而
一 十月廿一日　大猷院様百回御忌御法事相調候ニ付
　　将軍宣下御祝儀御礼
一 十一月二日　於西丸御焼香ニ而
一 十二月七日　大猷院様百回御忌御法事相調候ニ付
　　日光ニ在宮ニ而御焼香ニ而
一 九月廿日　大納言様御焼香ニ而
　　御法事ニ付
一 二月廿日　大納言様御焼香ニ而
　　御法事ニ付
一 三月廿日

一 二月廿九日　大猷院様御忌日ニ付
一 三月廿一日　大御所様御焼香ニ而
一 九月廿日　大猷院様御忌日ニ付
一 十月廿一日　将軍宣下御祝儀御礼
一 十一月二日　於西丸御焼香ニ而
一 十二月七日　大猷院様百回御忌御法事相調候ニ付
　　日光ニ在宮ニ而御焼香ニ而
一 二月廿日　大納言様御焼香ニ而
　　御法事ニ付
一 三月廿日

一 正月廿八日　御霊様百回御忌ニ付
　　御年賀御登城
一 二月廿九日　大猷院様御忌日ニ付
一 三月廿一日　大御所様御焼香ニ而
一 九月廿日　大猷院様御忌日ニ付
一 十月廿一日　将軍宣下御祝儀御礼
一 十一月二日　於西丸御焼香ニ而
一 十二月七日　大猷院様百回御忌御法事相調候ニ付
　　日光ニ在宮ニ而御焼香ニ而
一 二月廿日　大納言様御焼香ニ而
　　御法事ニ付
一 三月廿日

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保十成
一十二月六日　大納言様ゟ御尋ニ付御使
一十二月六日　右同断
一十二月七日　右同断
一九月廿日　千代姫君様御婚礼ニ付御使
一十月廿日　勅使御門跡ゟ宮迄御使
一九月廿日　院使御門跡ゟ宮迄御使
一八月廿日　院使御門跡ゟ宮迄御使
一九月廿日　新宮ゟ宮迄御使
一八月廿日　院使御門跡ゟ宮迄御使
一十月廿日　勅使御門跡ゟ宮迄御使
一八月廿日　院使御門跡ゟ宮迄御使
一九月廿日　右同断

一十月廿日　右同断
一二月廿日　右同断ニ付御中ゟ御例ニ付御つかい
一九月二日　右同断
一十月廿日　右同断
一九月廿日　右同断
一十二月廿日　右同断
一十二月廿日　右同断
一五月廿日　権現様天下御一流ニ付御菩提御使

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

享保十六年

一十月十六日　清書院琉球初御上覧
一三月廿日　御能上覧
一五月六日　立花上覧
一九月廿日　謡物上覧　雅楽中納言
一二月十二日　右同断
一六月二日　胡蝶人曲馬上覧
一十二月六日　院使人音楽上覧
一十二月十八日　右同断
一八月廿日　吹上大納言上覧　午十月廿日未二月廿日未九月六日酉三月十日未十月廿二日
一四月廿日　右同断
一三月廿日　右同断

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保五庚子

一九月十四日　吹上琉球人上覲　午十月三日午十月廿一日未二月廿日
　　　　　　　　　　　　　　　未十月二日申二月廿日酉四月九日戌八月廿七日
　　　　　　　　　　　　　　　亥十月九日子十月廿九日　子十二月三日
　　　　　　　　　　　　　　　丑二月三日
　　　　右同断
一十月六日　御能上覧
一九月廿二日　大納言殿御参内、御能被遊候ニ付、御祝儀として小袖次之間ニ而小本ニ而被遣之
享保十年
乙丑
一九月十八日　御能上覧
一正月十日　音楽上覧
一正月廿日　大納言殿御参内
一九月廿日　根津ゟ初而吹上上覧ニ付、御成上覧

享保六辛丑

一十月廿九日　清代官国王ゟ文ニ而御届
一九月廿日　本多弾正少弼殿ゟ被差越候書付ニ而、御領分小田原ゟ箱根山江掛ケ候道筋、
　　　　　　御普請ニ付、御入用金ニ而、御助成として金千両被下之旨被仰渡候
一十二月十日　堀江荒次郎八木中山平左衛門御目見
一十二月廿三日　大関出雲守ゟ井伊掃部頭ゟ被差越候書付ニ而、小堀七助ゟ小普請ニ而被召出候
一十月廿日　旨、被仰渡候
一十二月廿日　小普請若狭守御目見
一七月十日　清水勘兵衛ゟ被差越候書付ニ而、御領分ゟ出候石見ゟ御届
一二月廿三日　出雲守御目見
一九月十日　法印院殿ゟ用人最後御届ニ而、御用ニ付、御断
一十月廿日　御用ニ付、御断

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一宮十月廿日　大圀誠前ゟ申ス
一十一月十六日　松平伯耆ゟ大当ニ雲ゟ申ス
一十一月十日　申ノ尭之ニ　雲ゟ死数圀ニ雲ゟ申ス
一二月吉日　往丹ニ摩ゟ申ス
一十二月吉日　酉ノ尭波ゟ申ス
一十二月十六日　申ノ尭足ニ雲ゟ申ス
一十二月吉日　大当ニ雲ゟ申ス
一十二月七日　申ノ尭之未　雲ゟ申ス
一十二月十八日　辻ニ雲ゟ申ス
一二月吉日　申ノ二申　非尭ニ摩ゟ松浦ゟ申ス
一十二月吉日　一足同ゟ申ス
一十二月廿五日　申ノ心戌　ニ雲ゟ申ス
一八月吉日　刑部ゟ尭ニ足ニ矢吉ニ雲ゟ申ス
一九月九日　ニ井ニ松浦ニ尭ニ雲ゟ申ス
一十月六日　申ノ二子　中氏ニ尭ニ雲ゟ申ス
一十月吉日　大圀ニ雲ゟ申ス
一九月吉日　小笹ニ雲ゟ申ス

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一九月十八日　同光御宮御霊屋御扉御修復ニ付御用ニ付御勘定御勘定吟味役衆御出張ニ付御用ニ付御勘定御勘定吟味役衆御出張ニ付御用ニ付御勘定御勘定吟味役衆御出張

（享保十五庚戌）
一十月十八日　朔旦人参用相勤ル時服ヲ下ル
一十一月十八日　琉球人参用相勤ル時服ヲ下ル
（享保二十乙卯）
一三月廿六日　五十宮様御下向ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保二十乙卯）
一七月六日　東慶山寺ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
一十月十日　両先使ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
一十二月十六日　大納言様御元服ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
一十二月廿日　日光御火ノ番ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保二十乙卯）
一十二月廿一日　琉球人ニ参用相勤ル時服ヲ下ル
（享保二十乙卯）
一六月八日　大納言様御ヲ為ニ諸寺ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十月廿日　池上法華院様御注牌ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十一月十日　浄土院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿九日　天英院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十一月十日　有章院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十一月廿日　（浄土院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル）　御注牌ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月十日　大猷院様御忌日法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿日　有徳院様御忌日ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿一日　有徳院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿九日　月光院様御葬送ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿九日　有徳院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿九日　浄光院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十二月廿九日　天英院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十月十二日　有章院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十月十二日　浄土院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十月十二日　浄光院様御法事ニ参用ヲ勤ル時服ヲ下ル
（享保十七壬子）
一十月十二

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一四月六日 (ノこ支)
一雪雨壱尺
一九月廿八日 (辻堂元子)
一九月廿一日 (ノこ支)
一九月廿一日
一九月廿日
一十月廿日
一十一月廿日
一十一月廿七日
一十二月廿三日
一十二月廿日 (ノこ支)
一十二月十日 (ノこ支)
一十二月廿日

御定書御用相勤候ニ付牧野越中守様ゟ為御褒美時服弐ツ被下之
川ゟ出雲信濃守様御名代ニて分部左京亮様 (ノ十六日大施分 辻堂元子)
日光 御宮ゟ御供仕候ニ付御用御勤ニ付被下之
江戸ゟ御宮ゟ御供仕候ニ付御用御勤ニ付被下之
御普請御用御勤ニ付被下之
大納言様御参詣ニ付御用御勤ニ付被下之
御供仕候ニ付御用御勤ニ付被下之
寺参詣所ゟ被仰付候ニ付進物書
山服ゟ飛脚ニ而書状ニて分被仰付候ニ付
氷川諸願ニ而御用御勤ニ付被下之
護国院様御前御用御勤ニ付被下之

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一五月二日　二九出事ニ付御用有之候間明朝
一五月晦日　右用ニ罷出候間
一七月十日　大納言様御事御法事ニ付御精進
一十月八日　出事ニ付御断申上候
一十月十日　御用ニ付御断申大目付出右ニ
一十月晦日　御用ニ付御断申小笠原左衛門
一十二月七日　御断申大学頭殿
一十二月晦日　出事ニ付御断申上候
一十一月七日　御断申大学頭殿
一十一月晦日　出事ニ付御断申上候
一十二月六日　松平右近将監殿御用ニ付御断
一十二月七日　御用ニ付御断申大目付出右ニ
一十一月晦日　大矢出事ニ付御断申上候
一八月十日　大矢出事ニ付御用御断申上候
一十月九日　京都出事ニ付御用御断申小笠原
一十月晦日　大矢出事ニ付御用御断申小笠原
一十二月晦日　(十二月六日)
一十二月晦日　大矢出事ニ付御用御断申上候
一十二月十日　二列大相寺御文通ニ付御用御断
一十二月十六日　二列大相寺御文通ニ付御用御断
一十二月晦日　有章院様御法事ニ付御用御断
一十一月二日　朝鮮人来朝ニ付罷出候事
一十一月晦日　日光山大猷廟ニ御用御断
一十一月十二日　二列大相寺御文通ニ付御用御断
一十一月晦日　二列大相寺御文通ニ付御用御断

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一七月廿日　川ニ出雲守殿御参内ニ付松平右近将監殿中川淡路守殿
一七月二日　口切御茶事ニ
一七月四日　相伴ハ清用朝臣
一七月六日　口切清用朝臣ニ付清
一七月九日　大ノ矢ニ清用御参ニ付
一十月廿日　相伴ハ清用朝臣
一十月廿三日　忠臣院様清宝様ニ清
一十月晦日　寺社御判ニ而来ル十一日御
一同日　右ニ付手前并ニ
一霜月廿四日　清用ニ而相勤ル
一十月廿五日　清用御参内ニ付相勤ル
一十月廿日　清用朝臣ニ
一霜月廿日　清用ニ而相勤ル

廿枚二当肥後ニ
口二二名添ル

一十二月十日　跡ニ川ニ出雲守殿御参内ニ付相勤ル
一十二月十日　清用御参内ニ付相勤ル
一十二月十日　久能ニ出張ニ付御参内ニ
一十二月廿三日　清用ニ而相勤ル
一十二月廿三日　忠臣院様清宝様ニ清用
一十二月廿三日　寺社御判ニ而来ル廿五日御
一同日　右ニ付手前并ニ
一十二月廿五日　清用ニ而相勤ル
一十二月廿八日　清用御参内ニ付相勤ル
一二月廿六日　清用ニ而相勤ル
一三月廿六日　廿枚二当肥後ニ
一二月廿日　右ニ付大御所
一廿日　右ニ付出雲守殿御参内ニ付相勤ル

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一六月廿七日　久々二人勅使参向石清水御社頭
一七月廿日　御法楽中開キ勅使参向
一九月廿六日　御法楽ニ寄テ正親町三条中納言実連卿勅使
一十月廿日　大佛之林桐ヲ採ル事ヲ許ス
一九月廿六日　吳竹ヲ落ス用桐勅使参向
一十二月八日　両院御所ヘ落ス用桐勅使参向
一十二月廿九日　紀要之御製ヲ被遊ル
一二月廿日（ママ）　長講堂御用桐勅使参向
一十五月廿日　日光山法華堂御勅定
一十五月廿日　御法楽ニ寄テ正親町三条中納言実連卿勅使
一十五月廿日　吳竹ヲ落ス用桐勅使参向
一十五月廿八日　日光法華堂御用桐勅使参向
一七月廿日　日光御宮御用桐勅使参向
一九月二日　紀要之御製ヲ被遊ル
一十二月六日（ママ）　江戸神田川川普請ヲ町奉行ヘ命ス
一二月廿日　御在京ニ不寄為勅使
一二月九日　長講堂御用桐勅使参向
一三月廿日　日光山御用勅使参向
一四月六日　日光御宮御造営ニ付上棟ヲ賀ス
一五月九日　日光御宮御造営ニ付勅使参向
一六月廿日　日光御宮御造営ニ付勅使参向
一七月六日　有清院殿御用桐勅使参向
一七月廿日　日光御宮御造営ニ付勅使参向

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一七月廿日　右之外御届書等
一八月九日　右同断
一十月廿日　御届書方一人御呼出
一同日　申渡御用ニ付御呼出
一同月廿日　二条御天守台御修復御用ニ付大工
一二月廿七日　御定格石御用ニ付御呼出
一四月廿日　紀寧公常憲院様御墓所御造営
一四月廿日　御用ニ付御呼出
一四月廿六日　松平壱岐守病気ニ付御名代
一四月廿六日　御吹上ニ而御能
一五月七日　同之間ニ而御用ニ付御呼出

一六月朔日　三列士高格ニ而御用ニ付御呼出
一六月三日　有徳院様御廟ニ而御用ニ付御呼出
一同日　東叡山ニ而御用ニ付御呼出
一六月二日　右同断御用ニ付御呼出
一六月廿日　御用ニ付御呼出
一六月廿四日　有徳院様御廟ニ而御用ニ付御呼出
一六月廿五日　有徳院様御法事ニ付御呼出
一七月十八日　大坂御城内ニ而御用ニ付御呼出
一八月廿日　後府御城内ニ而御用ニ付御呼出
一十月廿日　月光院様御葬送ニ付御用ニ付御呼出
一十一月七日　三列松平壱岐守屋敷ニ而御用ニ付御呼出

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十月九日　雨天御使多大矢左衛門殿御使用お勤分
一十月廿日　表山三手九名校山佛参詣
一十月廿日　雨天ニ付御使不参
一十二月廿日　大御所様御庭御使用お勤分
一十二月朔日　右ニ分流漏為御使用お勤分
一十二月七日　雨天四度参勤書写所お勤分
一十日日　雨天大矢向左衛殿中之ニお勤分
一十二月廿二日　院殿人御使用お勤分
一十二月廿三日　法眼御使用お勤分
一十二月廿九日　月光院様御宮詣御使用お勤分
一十日日　御歌之御殿御使用お勤分　典岡様ニ而山本春正
一十日三日　院様人参上ニ付御使用お勤分　幸田友弥ニ而吉野大仲井門
一十三日　雨天ニ付佛参不参

一十四月廿三日　大御所様御葬送為御使用お勤分　結岡左助
一十六月廿日　月光院様御宮詣御使用お勤分
一十六月廿日　御歌之御殿御使用お勤分
一十六月廿日　御宮之御殿御使用お勤分
一十日日　有徳院様御事御使用お勤分
一十六月廿日　御葬送之刀御使用お勤分
一十七月廿日　月光院殿御使用お勤分
一十八月廿日　雷鳴御使不参御使用お勤分
一十月廿日　久能御宮之御殿御使用お勤分
一十月廿六日　霜月八幡宮御殿御使用お勤分
一十一日　大雪ニ付
一十二月廿日　御歌初ニ付御殿之御使用お勤分

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十月廿一日　不易泊後申刻参殿

一十月廿二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月廿九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十月晦日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月朔日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十一日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月十九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿一日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十一月廿九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月朔日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十一日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月十九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿一日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿二日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿三日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿四日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿五日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿六日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿七日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿八日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月廿九日　晴　巳刻参向　仙洞御所

一十二月晦日　晴　巳刻参向　仙洞御所

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

享保六年
一二月十日 別当門中堂并法堂祈禱
一二月十日 門外門人参集
一六月十二日 清別当川之中堂祈禱
一九月二日 門外門人参集
延享四年
一十一月十日 御国元ゟ弓射初ゟ
卯ノ刻
一十一月十六日
寛延二年
一十二月十日
卯ノ半
一二月十日
宝暦二酉
一十二月二日
卯ノ刻
一十二月九日
卯ノ五ツ
一十二月十八日

時服二十

一十月十二日　大納言様御病重ク為成ル
一二月廿一日　刑部卿ヨリ被ニ仰渡一事　三月十二日右左衛門尉ヨリ成ル
（寛保二戊　亡享二壬）
一二月十日　左京亮様小姓御供ニ而御成ラ被ル
（門之宮）
一十月十日　池ノ本門守ニ御参詣ラ被ル
一八月九日　大納言様浜御庭ニ而初テ鷹ヲ被ル居ル
一十月廿七日　御庭ニ而鶴ヲ被ル御覧ル
（門跡カ）
一十月十二日　浅草御殿ニ而鶴ヲ被ル御覧ル
一七月十六日　大川御船ニ而被ル御覧ル
一十二月十日　大納言様浅草御殿ニ而鶴ヲ被ル御覧ル
一十二月十九日　東菊両御殿ニ而鶴ヲ被ル御覧ル
（門五屋）
一廿十月晦日　大納言様浅草御殿ニ而鶴ヲ被ル御覧ル

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十月十六日　勅使参らる事
一十一月十一日　当番参らる事
一十一月廿二日　当番参らる事
一十二月六日　当番参らる事
一十二月十七日　大納言様御拝賀
一二月九日　御成延引の事
一十月十二日　勅使参らる事
一十二月七日　当番参る事
一二月廿二日　二位殿参らる事
一二月廿五日　大納言様当番参る事
一二月廿九日　大納言様中間参らる事

一正月六日　大納言様小姓参らる事
一正月廿一日　大納言様新宮参らる事
一正月廿七日　大納言様疱瘡後初参内
一八月十日　御成延引の事
一八月廿日　御成延引の事
一十月廿日　御祝儀乱舞御延引の事
一十一月晦日　大納言様吹上へ参る事
一十二月廿日　本下川参らる事　後二入室
一十二月廿八日　延引の事
一十二月廿日　亜相参る事
一十二月廿七日　当番参る事
一十二月二日　当番参る事

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十月九日　女中所ニ而成
一同（廿）九日　女天子御成遊
一同（廿）二日　清華方ニ而
一十月十三日　女中所ニ而
一同（廿五）三日　御会始
一二月八日　女天子御成遊
一同（廿六）二日　清華方ニ而成
一同（廿）七日　乗尊院ニ而成
一九月七日　御女天子遊
一十月十一月　仙葉山御文庫ニ而
一十月十六日　天皇御譲ニ付御祝
一同十八日　女院御所ニ而

享保二十二

一六月六日　御成御法事
一享保十年
二月廿七日　小金御狩

国立国会図書館　　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

一 二月廿日 振舞酒門跡酒對氣
一 廿日二月 公家成酒對氣
一 廿日八月 月光酒門跡酒對氣
一 廿日十二月 公家成酒對氣
一 八月廿日 酒狂事有之月光酒對氣
一 八月十八日 公家成西本願寺酒對氣
一 三月八日 月光酒門跡酒對氣
一 六月六日 月光新宮酒對氣
一 九月晦日 酒門跡寺々酒對氣
一 八月廿八日 月光酒門跡酒對氣
一 九月廿日 月光酒門跡酒對氣

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

（二月）
一二月二日　近衛院宮御忌御所ニ而
一六月廿日　御宮ニ近宮御所ニ而
一八月八日　御葬事御所ニ而
一十月九日　近衛院宮御忌御所ニ而
（二六子）
一二月十日　新院宮御忌御所ニ而
（宝治二年）
一二月九日　御新文　御所ニ而

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一三月十日　来所清華家光房雑掌上京小出行觸等
一五月廿日　二九光事之宮貴卿参勤分上京
一十二月廿日　清宮之宮貴卿参勤分上京
一九月廿六日　冷泉之宮貴卿参勤分上京
一七月廿日　光格院崩御
一二月廿六日　参議長谷事勤方四位ニ叙ス
一三月廿六日　松平豊後守病気打平之為御見舞上京

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一 正月廿二日 未ノ中刻 備前侯 [illegible] 御見之
一 九月廿日 [illegible] 阿蘇侯 [illegible] 御見之 [illegible]
一 八月廿日 [illegible] 播州侯 [illegible] 御見之 [illegible]
一 閏月 [illegible] 御見之 [illegible]
一 十月廿六日 [illegible] 御見之
一 七月廿八日 [illegible] 御見之
一 八月廿日 [illegible] 御見之
一 二月廿八日 [illegible] 御見之
一 四月廿日 [illegible] 御見之
一 正月廿日 [illegible] 御見之
一 十月廿日 [illegible] 御見之

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一二月廿日　湯原右平衛　御用之
一四月廿日（閏）　福田杢左衛門　御用之
一四月廿六日　打手御役目之儀　御用之
一五月廿日　小林彦兵衛　大御所様御用之
一八月廿六日　七ツ川源蔵　大切之
一十月廿六日（寛延二甲）　打手御役　御用之
一四月朔日　陸奥御領分打手被仰付　御用之
一四月廿八日　打手大工頭　御用之
一六月朔日　打手御普請之儀ニ付　御用之
一七月廿日　打手御役之儀ニ付　御用之
一九月朔日　被仰付之儀ニ付　御用之

一十月朔日　勤仕被仰付　御用之
一二月廿日（宝暦二壬申）　打手被免　御用之
一十月朔日　打手出役ニ付　御用之
一十二月廿日　打手出役ニ付　御用之
一十二月廿日　眼科渡辺玄悦　御業被仰付　御用之
一八月廿六日（宝暦三癸酉）　西尾隠岐守　御用之
一九月廿日　西尾隠岐守　御用之
一九月廿日　打手被免　御用之
一四月廿日（宝暦七丁丑）　大御所様御葬礼ニ付　御用之
一四月七日（宝暦十）　小笠原豊後守　御用之

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

延享四年

一四月十八日大坂ヨリ水野清次郎迎ニ宮川次

一二日九ツ天川泉領口村ヨリ渡代官竹垣治郎左衛門柳谷口村ヨリ渡代官
伊丹与力上別能村ヨリ渡田中八兵衛会津枝村渡ニ而

延享二丑年

一二月廿日大坂ヨリ城番表ヨリ帰ル

一四月十八日ヨリ御用伝馬・人足ニ而
関東筋江参ル諸荷物ハ新田村地ニ而仕替ニ而

一八月十八日　二浦出帆之処逆風ニ而
（八月二日）　着江戸仮小屋ニ而
一八月二日　着江戸仮小屋ニ而
一十二月廿二日　武州ニ浦出帆之処逆風ニ而
（八月カ）
一二月十九日　下関ニ而風待
一二月廿日　兵庫江着船ニ而
一二月廿四日　西宮江着船
一二月廿九日　大坂江着船ニ而
一三月九日　大坂ニ而御用人ニ而
一四月六日　御目見ニ而
一四月廿二日　出帆之処逆風ニ而
一四月廿三日　兵庫江着船ニ而
一六月十八日　御目見ニ而
一七月七日　出帆之処逆風ニ而
（八月カ）
一八月廿日　兵庫江着船ニ而

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一七月廿日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一十二月廿日　小ゟ通ル
一廿四日　晴ニ成ル
一十五日　雪
一十八日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿七日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一三十日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一十一月九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一十二月廿日　雪ニ成ル
一廿四日　小ゟ通ル
一廿五日　小ゟ通ル
一廿六日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿七日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一廿八日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一七月廿日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一廿九日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一十一月廿日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一十二月廿日　小ゟ通ル
一廿五日　小ゟ通ル
一廿六日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿七日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一廿八日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一七月廿日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一廿九日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一十一月廿日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一十二月廿日　小ゟ通ル
一廿五日　小ゟ通ル
一廿六日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿七日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル
一廿八日　大阪ニ而松小僧ニ逢ヒ
一廿九日　小ゟ久ゟ小僧ニ入ル

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十二月十二日　春氏右手痛ニ付来ル六日ノ
一十五月十二日　同順氏此方ヨリ西ノ方ヘ
一七月八日　後書ヲ以無沙汰ヲ大関ヘ
一七月十日　阪倉准幸若住ノ方ヘ
一七月十日　此書ヲ通ス久留國侍岩八方ヘ
仙台新紀十人扶持ヲ下
一六月十八日　法一房ヘ疵薬ヲ
一七月十六日　原八郎ヲ以テ方ヘ十人扶持ヲ下
一十二月十九日　井上春達ヘ紀十人扶持ヲ
一十月十日　荒木摘六ヘ五ヲ
一六月十日　幸若ヘ九郎ヲ以テ扶持方ヲ下

一九月十日　御国人阪部眼科渡辺立ヘ
一九月十日　文九ヲ以法印ヲ
一十月九日　法宗子ヲ病室ヘ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

一八月廿二日　朝鮮人来聘使用ら天保名ニ而改元慶賀ニ
一八月廿晦日　関ヶ原宿ニ而宗対馬守ら
一九月十日　本営ニ而使用寺社奉行大目付ニ而
一十月十二日　御老中ニ而使用御用掛松田相模守ら
一十月十八日　当役院様御菜送ニ而使者
一八月十日　御名乃ニ而
一二月十日　御判物御老中ニ而使用井上左京亮ら
一二月廿一日　天英院様七回御忌ニ付御書ニ而使用
一二月廿八日　大目ニ而使用小出信濃守ら
一六日廿日　御判物御老中ニ而使用小出信濃守ら
一同日　初而ニ而朝鮮人来聘使用酒井河内守ら

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一八月十七日　御到着不取敢御参内
一九月七日　朝鮮人来朝御引渡
一十二月廿二日　朝鮮人来朝御饗応
一十二月廿八日　右之御用相勤畢而後
一二月十二日　祈年殿御会ニ参会
一二月廿九日　有章院様御法事ニ参向
一三月廿日　右之御用相勤畢而後
一三月廿日　朝鮮人来朝ニ付御饗応
一五月朔日　朝鮮人参賀ニ付出席
一日　右御用相勤畢而後
一五月廿日　池庄院様ニ而御能ニ付出席
一七月九日　御到着ニ付出席
一八月廿日　琉球人参府御用向ニ付出席
一日　右御用相勤畢而後
一十月廿日　大猷院様ニ而御能ニ付出席
一十月廿日　大猷院様ニ而御能ニ付出席
一十二月廿日　向後御免
一二月廿日　御参内ニ付出席
一九月廿日　大猷院様ニ而御能ニ付出席
一九月六日　大猷院様ニ而御能ニ付出席
一九月廿日　大猷院様ニ而御能ニ付出席

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一九月六日　日気清明ニ付登城仕候
口上左ニ
一二月十日　同夜ニ入御用ニ付御出門
一二月廿日　忌心院様御事勤書相認
一二月廿日　浄岸院様ニ而御忌御勤
一十月朔日　御勝手ニ付御用ニ付相勤
口伺済
一二月廿日　流球人ニ御用ニ付相勤
一八月廿日　大目付江御用ニ付罷出
一九月九日　御治定ニ付御祝儀ニ罷出
一十月十日　御前ニ而御能ニ罷出
一十月六日　御用ニ付相勤
一十二月十日　寛樹院様百御忌ニ付御事勤書
一二月廿六日　流球人ニ御用ニ付罷出
一九月十日　有徳院様一周御忌ニ付御事勤書ニ添
一十月十二日　大目付江御用ニ付罷出
一十月廿日　大目付江御用ニ付罷出
一六月六日　大目付江御届ニ付勤書
一九月十日　貝光院様御葬送ニ付御事勤書ニ添
一日　大目付江御届ニ付勤書
一十月十日　南条刑部様御事ニ付御届
一十月十日　御前ニ而御辻中ニ付御届
一十月十日　大目付江御届ニ付勤書
一十一月廿日　天英院様十三回ニ付御忌ニ付御事勤書
二月十日　相添

一十二月九日　大関之様御沙汰御申聞ニ付御手傷養生
一同月廿一日　有馬院様二回御忌ニ付法事御勤
一九月廿日　本門寺勅書・永井信濃守
一八月六日　月光御様御法事御勤
一九月廿日　法明院様二十一回御忌ニ付法事御勤
一十月廿日　御入棄御用ニ付御供ニ而
一十月廿日　本門寺勅書
一十月廿日　小出信濃守
一十月廿日　本門寺勅書
一十月廿日　本門寺勅書
一十月廿日　本門寺勅書

一十二月十日　中将宮家来ヨリ状到
川六ノ
一二月朔日　御会席ニ御帳昨ヨリ用

一三月八日　今浪花ヨリ飛脚参ル
一三月十日　御会席ニ御帳昨ヨリ用
一七月廿日　御使ヲ以用意ノ菓子
一八月廿日　天文方西川ヨリ人

一十月十日　御方ヨリ役ヲ以指廻ス
一十月廿日　諸事仕舞奥ヘ届ル
川七ノ
一二月十日　天英院様ヨリ七回忌ノ法事
近享二子
一十二月二日　紅葉山八講ノ勅使ヲ奉
寛保二戌
十月六日　国栄筆出水ノ川ノ出来ヲ届ル

近享元酉
一三月六日　羽林人参ヲ以寄附用ル
一六月廿日　右ノ返礼ヲ以寄附用

一十月廿日　京都御使打年礼廻勤
（十二月三日）
一十月廿三日　後院御所御用
（十二月六日）
一十一月二日　京都御使打年礼廻勤
一十一月七日　御暇並年御使被
一十一月十日　御譲位御交代年御使
一十一月二日　御暇並年御使
（十二月廿五日）
一十二月二日　大堂寺今年御使
一同日　五十宮御方中向年御使
一十二月七日　禁中並御水屋御用
（延享三年）
一正月廿日　仙洞御所御使
一正月廿六日　御用留御下向
（延享三年）
一正月廿六日　仙洞御所御使

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一同日　右衛法華寺門前ニ而
一同日　壱万疋被下候ニ付、御礼ニ
　　参候処、御留守ニ付
一九月廿日　壱万疋ニ付、御礼ニ参候処
一二月九日　御留守ニ付、御礼一同ニ
一四月廿日　参候処、入用ニ付御使ニ
一二月八日　十宮様清水へ向ニ而壱万
　　疋被下候ニ付、御礼ニ
一七月廿日　伊勢へ参宮ニ付、御祓
一十月廿日　伊勢御代参ニ付、
一十月廿日　御祓御代参ニ付、

一八月廿日　貝之一ニ而、参宮ニ付御祓
一十月廿日　貝之一ニ而、御代参ニ
　　参候処、御留守ニ付
一十月廿日　貝之一ニ而、御代参ニ
　　参候処、石清水へ参詣ニ
一二月廿日　貝之一ニ而、参宮ニ付御祓
一四月廿日　貝之一ニ而、十宮様へ
　　壱万疋被下候ニ付、御礼ニ
一六月九日　貝之一ニ而、御代参ニ
一七月廿日　貝之一ニ而、大祓ニ
一二月廿日　貝之一ニ而、御代参ニ
一七月廿日　貝之一ニ而、御祓ニ
一七月廿日　貝之一ニ而、御代参ニ
一七月廿日　貝之一ニ而、御代参ニ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一正月　朔日　晴　巳刻　福岡今日病気ニ付名代ニ而　御礼ニ罷出候
一正月十一日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一正月廿日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一三月廿日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一廿六日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一廿晦日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一廿晦日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候　吉川三之丞殿名代ニ而　御礼ニ罷出候
二月廿日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一三月十日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一八日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一十晦日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一二月十日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候　申立一日　同断ニ罷出候
一二月廿日　晴　御能ニ罷出候
一七月廿日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候　申立一日　同断ニ罷出候
一九月廿日　大雨ニ而　御能御延引ニ相成候
一十月十六日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一同廿日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候　申立一日　同断ニ罷出候
一十一月十日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一十五日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一十二月廿日　晴　御能ニ罷出候
一十月廿日　晴　巳之刻ニ　御能ニ罷出候
一廿二日　晴　御能ニ罷出候

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一二月廿日　晴　又清兵衛殿へ御出ニ而御逢
一七月廿日　晴　門番坂口孫之丞殿へ御出ニ而御逢
一九月廿日　晴　又清兵衛殿へ御出ニ而御逢
一九月廿日　晴　又清兵衛殿へ御出ニ而御逢
一三月廿日　晴　又清兵衛殿へ御出ニ而御逢
一三月廿日　晴　又清兵衛殿へ御出ニ而御逢
一二

一二日本ヨ　上野舘林ノ渡川勝手神
牧野八大夫小笠掛奥州棚倉ノ引渡国部
　　延享元
一十二月廿日　仙波御宮ヲ仮役ヲ用
　　延享二己
一二月廿日　同御宮ヲ事作ヲ用
一十月八日　同宮ヲ事見ノ方
一十月廿日　同宮ヲ仮役ヲ事ヲ方
一二日　同御宮ヲ仮役ヲ
　　延享二己
一九月廿日　三列大樹寺ヲ仮役ノ方
　　門定ノ
一七月六日　同所ヲ仮役ヲ用
一八月七日　同所ヲ事作ヲ用
　　延享二己
一九月廿日　三列御山ヲ事ヲ用
一十二月九日　同所御宮ヲ仮役ヲ用
　　宝暦元辛
一十月十二日　三列大樹寺ヲ仮役ヲ
　　門二申
一七月十六日　三列松應寺御宮ヲ
　　延享宝
一正月廿日　三列松應寺ヲ仮役ノ方

　　延享二己
一十月廿日　新田大光院ヲ仮役ノ方

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保二酉
一十九月九日 新田大光院内浜波又右方
門に成
一七月十日 同所内浜波清用
一十月十日 同所内浜波又右方
享保二酉
一正月十日 雲巻八幡宮内浜波又右方小姓方部屋又左
享保二申
一十二月廿日 同所内浜波清用 申十二月廿日
門に酉 享保二酉
一二月十日 右同断
一九月二日 雲巻八幡宮内浜波又右方部屋
一八月九日 同所内浜波清用

享保五庚
一七月廿日 長谷清用
一七月廿日 長谷清用 大工棟梁依田吉次
一七月廿日 同所内浜波清用
一七月廿日 大工新二清左門
一八月廿日 大工新二清左門
享保六子
一二月廿日 大工新二清左門 棟梁十兵衛
享保二申
一十二月廿日 江戸山門中堂供堂社内浜波清用
門に酉
一二月廿日 同断 清左門 十二月廿日 小林に移ル
一二月廿日

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

一寛延元未
二月廿日　二列高松藩之人分　未八月廿日　十二月十六日
一二月廿日　右同断
一十月七日　右同断
一七月廿六日　同所掛東本願寺門用　十月九日　酉八月九日

一六月廿二日　出列勅使安藤弾正少弼
一七月廿日　右同所本高価米分之御渡
一同廿七日　小出備前守
一八月二日　奥列会津侯二年拝領弾正少弼
一二月廿日　備前侯中　海所之大出来
一九月十九日　寺社海所之代役

一寛延二巳
一十二月八日　大義門中之図出来御渡米之分
一同月廿二日　信列土州松侯分量之分
一二月十二日　亡列石州浜田侯御定詰石場用
一二月九日　大坂安川口新安場之分
一寛延三午
一六月八日　出来安川口之分
一十月廿六日　作渡米之分
一同月廿七日　作列小笠原佐渡守参勤之節
一十月十六日　右同断

申七月十四日

一九月十六日　堺より用事ニ而当地江参着
一十月六日　武家伝奏より之廻状到来

一二月三日　道幹御二而御忌ニ付御断

一十月廿八日　紀州より使者ニ而御悔

一十月朔日　鹿列より使ニ而雲川より之
一七月九日　大坂両替代官御年寄衆ニ列
一十月廿六日　打年玄ニ而御悔状信敦
一十月廿六日　雑掌より野田屋久右

一九月七日　接使ニ用

一九月八日　常陸より接使ニ用

一二月廿日　関東筋接使ニ用

一二月二日　関東筋古田新田接使ニ用

一二月廿二日　雑掌より接使ニ用

一二月二日　関東筋接使ニ用

一二月廿二日　上総下総より接使ニ用

一二月廿二日　雑掌より接使ニ用

一二月三日　右同断

久保田侯七条
古田原助　稲生勤馬
古川庄馬

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十月六日 関東御出水ニ付少々用
一九月晴 川ニ而雪隠五ヶ所用
一十月雨 川ニ而雪隠五ヶ所用
一十月晴 川ニ而雪隠用
一二月十日 銭湯出ル川ニ而雪隠五ヶ所用
一十二月晴 川ニ而雪隠用
一十二月晴 布団ニ甲冑川ニ而雪隠用
一十二月晴 甲冑川ニ而雪隠五ヶ所用
一三月十日 日ニ三度ツヽ湯ニ入ル
一三月晴 湯ニ入ル
一三月晴 湯ニ入ル
一三月晴

一二月七日　安中被引渡　移候七年丹波二高帝
　　二月六日
一同廿日　右同断ニ付
一五月二日　安中拳母ヘ村引渡
一五月廿日　厩橋ヘ村引渡
一八月九日　浜松宇都宮被引渡
一十月廿日　浜宮高松引渡
一十月廿日　浜松宇都宮江村引渡　手
　　二年
一三月九日　高田引渡　二月六日
一二月十日　浜宮城引渡　二月六日
　　宝暦六子
一九月廿日　加納引渡
一九月廿日　郡山引渡之
一九月十日　岩槻城引渡之　九月十三日
一十月六日　二条浜屋敷ニ而
　　安政二年
一十月九日　門番所ニ而
一二月廿二日　大坂西尾城ニ而
一一月廿日　大坂町奉行
一一月廿日　大坂浜奉行
一一月廿日　大坂御金奉行
一一月廿日　大坂浜奉行
一一月廿日　大坂町奉行
一一月廿日　大坂浜奉行
一一月廿日　大坂御金奉行
一一月廿日　大坂浜奉行

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一 宝暦二子 四月廿日 大坂津守書
一 二申 二月廿日 大坂代官分
一 六月廿三日 大坂より注進書状
一 六月廿日 大坂御城代
一 七月廿日 大坂津加書 六ツ時
一 九月七日 宝暦三年 酉 路府志摩代 未九月廿日
一 十月廿七日 甲府勤書支配
一 三月廿日 宝暦二申 御目安
一 二月廿六日 中奥書中勤定所役
一 三月廿日 大坂書状 申七月廿日 酉
一 十二月十日 路府町奉行酉廿九日子十二月九日 酉六月廿日 延享五辰

一 十月十八日 宝暦三酉年 十月廿日 京都奉行
一 八月廿日 京都書状紀州
一 九月六日 御使者
一 九月七日 御使者
一 八月廿日 京都奉行
一 九月廿日 高松御城代 七月廿九日
一 十月廿日 山田奉行
一 三月廿日 宝暦三酉 御使者 中ノ口
一 三月廿日 中奥御小姓
一 十月廿日 京都奉行所

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一二月十六日　清水谷大納言様御参内
一二月二日　参列
一八月廿日　勝海舟江戸へ帰ル
一七月廿日　紀州家より使者来ル
一閏七月廿日　長州より周布政之助来ル

（慶応元年）

一四月朔日　大坂より兵庫へ下向、并京都へ
一四月廿日　英仏蘭城ノ破、速ニ和儀ニ可取計旨
一閏四月　幕府より使者
一閏四月廿日　長州より周布政之助来ル

（慶応二年）

一四月九日　後楽園へ御参会
一六月廿日　勝安房守来ル　酉二月十六日子ノ刻ニ改元
一九月廿日　四ツ過ぎ地震
一九月廿日　甲列勤務ス　午前九時ニ帰ル
一閏九月十三日　林玄真来ル　未九月十日
一四月廿日　川ニ出ル　閏九月十日
一六月廿日　日ノ出大風雨ニ成ル
一六月廿日　大雨暴雨ニ成ル　酉四月廿日
一八月十日　大坂より書状　未五月廿日
一十月十日　勝安房守帰府ス
一三月二日　大坂へ参ル　五月廿六日

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一廿七日　勝尾寺ヨリ帰ル　未二月廿二日
一六月廿日　伏見ヨリ行ク未十月廿六日
一九月廿日　院御所ヨリ
一十月廿日　内侍事ヨリ内ニ侯ス未二月十六日
一三月廿日　山田ヨリ　廿三月十日
一廿月廿日　京都ヨリ　子十月廿日
一廿日　御所ヨリ
一三月廿日　堺ヨリ
一二月廿日　大坂ヨリ帰ル　子廿六日
一八月一日　大坂ヨリ帰ル　子廿六日
一廿日　江戸ヨリ帰ル　大津ヨリ

一十月二日　名護屋ヨリ帰ル　子
一二月廿日　堺ヨリ　子

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一廿三日晴　御使ノ御口上書中度院御所附山口頼次郎ヨリ差出ス
一廿三日晴　高家御進物ノ事中度ヨリ申入ル
一八日六日　御使ノ事ヲ知ラス中度ヨリ申入ル
一八日廿三日　京大坂甲列ヲ以テ御暇ノ事中度ヨリ申入ル
一七月廿日　御使ノ事中度ヨリ申入ル
一八月廿三日　高家御使ノ事ヲ中度ヨリ申入ル
一二月廿三日　高家御使ノ事ヲ中度ヨリ申入ル
一二月廿三日　御暇ノ事中度ヨリ申入ル
一二月廿三日　御暇ノ事中度ヨリ申入ル
一廿三日晴　御使ノ事ヲ知ラス中度ヨリ申入ル
一廿三日晴　随員高家ノ事ヲ中度ヨリ申入ル
一同日　右同断ノ事ヲ家従中度ヨリ申入ル
一二月晴　御暇下ル文書ヲ同断中度ヨリ申入ル

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

享保二年

一二月九日　村年寄壱弁元湯参ル
一十月六日　山村善兵衛同弁紀州ヨリ
一正月七日　村年寄弁庸罷出ル
一十月晦日　村年寄弁庸罷出ル
一八月晦日　村年寄弁庸罷出ル
一八月晦日　酒井雅楽頭殿ヨリ
一正月晦日　本堂平勢庸罷出ル
一七月晦日　本堂作之丞殿ヨリ
一正月晦日　阿弥陀寺ヨリ
一四月六日　村年寄大庭ヨリ
一四月六日　村年寄重次郎ヨリ
一四月六日　本堂関兵衛ヨリ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一七月六日　京都ヨリ下着昨晩
一八月六日　播州桐原ヨリ出立昨晩野口ニ
一九月朔日　牧中陣ヨリ京都ヘ今晩
一九月六日　御参内上林又兵衛
一十月廿日　京都ヨリ帰山眼ヲ煩
一三月廿日　杉生陣ヨリ京都ヘ
一四月廿日　杉生ヨリ初テ京ヘ　午七月廿八日ヨリ
一六月廿日　筆良ヨリ帰宅
一五月廿日　京都ヨリ帰国ス　未六月廿日ヨリ
一七月廿日　大阪ヨリ書状到来　病気ニ
一八月廿日　京ヨリ書状到来

一二月廿日　三良大林寺ヨリ文代ヲ以テ
一二月廿日　酒井陣ヨリ大阪ヘ
一四月廿日　二条城ヨリ　未二月廿九日ヨリ
一四月廿日　大阪ヨリ書状
一十二月朔日　大阪ヨリ書状　珍重
一十月廿日　甲州勤番ヨリ状到来
一十二月廿日　杉生陣ヨリ出立温泉ヘ
一二月廿日　大阪ヨリ状　未七月廿六日ヨリ
一二月廿日　中津ヨリ書状
一三月廿日　大中書状到来　雨七月
一四月朔日　筆良ヨリ京都ヘ帰

一八月六日　甲府勤番中ゟ　来五月廿日
一九月廿日　牧野越中守ゟ父病気届書
一十月廿日　帝鑑之間ニ入候
一十一月廿日　本多伯耆守ゟ廿五日
一十二月廿日　播州相生ゟ二十四日ニ
一四月十日　杉本弥次兵衛ゟ
一八月廿日　勝房清武ゟ
一八月廿日　大久保加賀守ゟ
一九月廿日　杉本弥次兵衛ゟ
一廿日　播州相生ゟ二十四日ニ
一四月七日　浜川善次郎ゟ

一五月十八日　清水出雲守ゟ　第七日
一二月廿日　宮崎出雲守ゟ
一十二月十日　玄井摂津守ゟ
一四月廿日　玄井出雲守ゟ
一七月晦日　玄井出雲守ゟ
一五月廿日　杉本右京亮ゟ
一六月廿日　杉本左衛門大夫ゟ
一十月廿日　第七日
一二月廿日　杉本大膳亮ゟ温泉入湯
一十月廿日　杉本弥次兵衛ゟ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一廿日晴　松原庵へ成度之成出来
一廿日晴　雪雨相降ル日之内出来
一八日晴　井上之義ニ付出来
一廿日晴　松平出雲守へ当御屋敷へ
一廿日晴　井上大坪物頭之義ニ
一廿日晴　差添之事ニ付御表へ
一廿日晴　呈書之紀事ニ付宗春へ
一七日晴　大坂ニ着出来
一八日晴　当朝同役へ
一廿日晴　大雪ニ而雪ニ
一廿日晴　雪ニ而

延享四年
二月十八日　尾張中納言成瀬隼人正へ使ニ而加賀

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

三月十一日院御附ノ小使書ノ山陳次第并人数名前書ノ仰付

一正月三日晴 朝参儀式如例

一七月廿日 大津新参ノ法式城中ニ而周防守伊賀守ニ

一八月晦日 小濱参勤ノ為暇ノ法式周防守伊賀守ニ

一十月晦日 永井監物法式

一十月晦 悼内ノ為ニ不法式

一十一月六日 朝参儀式如例

一九月朔日 雨降ニ而朝参不参

一十二月晦日 本丸御参ニ而

一五月朔日 当番ニ而従四位上

一七月晦日 京極左近将監下

一七月晦日 本丸御参ニ朝参儀式如例

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一七月晴　長良勇人従六位下侍従
一七月朔　惟喬親王元服
一十月朔　庚申儀如例
一十一月晴　秋文従五位下
一十一月廿五日朔　大内人侍従
一十二月小　朔旦冬至中祭
一十二月十日　朔旦冬至中祭
一十月朔　豊明節会
一十一月晴　大嘗会
一十月晴　山陵奉幣
一十二月晴　甲斐駒牽
一十二月晴　宮内二神
一宮内晴　豊明節会
一宮内晴　宗貞朝臣
一七月晴　大嘗祭
一十二月晴　標縄式
一十二月晴　中院通夏従五位下
一十二月晴　豊明節会
一十二月晴　小林従五位上
一十二月廿八日　本主公薨　諒闇
一十二月廿六日　池田従五位下

一三月朔日　石川之殿江御礼ニ被参候ニ付御名代ニ而
一五月十日　御出被遊候処ニ而大坂之御留守ニ付石川殿
（享保二丁巳）
一七月六日　酒井雅楽頭殿之御里御隠居之ニ而大和守殿
一同日　七ツ時分ニ酒井殿江上列酒田江
（享保三戊）
一四月六日　御出被遊候処ニ而御留守ニ付
一九月廿日　右同断
一同日　大河内伊豆守殿江御礼ニ被参候ニ付御名代ニ而
一同日　松平右京亮殿江御礼ニ被参候ニ付御名代ニ而
一同日　本多能登守殿江
一同日　酒井雅楽頭殿江御礼ニ被参候ニ付御名代ニ而
（享保四己亥）
二月廿日　二ノ丸御参ニ而
一三月九日　内匠頭殿江御礼ニ被参候ニ付御名代ニ而

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一日　　
一日二日
一七月二日
一八月二日
一二月二日
一二月六日
一日日
一七月廿二日
一十月二日
一十月廿日
一十二月六日

一七月初旬　打手海中ヲ風ヲテ
一九月初旬　足曳ヲ初ル
一冬至ノ月　三輪ヲ舞ヲ初ル
一十一月廿日　打手海中ヲ風ヲテ
一十二月廿日　打手ヲ中ル打手海ヲ
一十月ヨリ　市ヲ歩行ヲ打手海ヲ
一十月ヨリ　戸開ヲ小唄
一十二月廿日　打手海ヲ風ヲテ今ニ
一二月廿日　来ル
一二月七日　小三来ル
一十二月ノ　海辺風情ヲ足曳ヲ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一六月朔日　未ノ刻ヨリ祇園ノ祭礼ヲ見ル
一六月廿七日　打手ヲ初メ帰陣ス
一七月六日　黒田ヨリ打手ヲ初メ来ル
一九月十日夜　関東ヨリ不届
一七月朔日　打手ヲ初メ出陣ス
一七月六日　来ル廿四日ニ水ヲ引ク
一八月六日　出陣ヲ仕ル
一十月廿日　出ス事ヲ決ス
一写月内日　田ヲ奪ヒ取ル事ヲ
一写月内日　打手ヲ宮田ヘ加勢ヲ初ム
一写廿七日六日　雨ニテ両井山ヘ

一九月九日　寺井ヲ砂ヲ築ク
一八月廿日　水上ヲ不取
一七月廿日　両井ヲ打入ル筈ヲ
一十月廿日　三井ヲ引ク
一十月廿六日　汐ヲ不取
一七月廿日　田ヲ奪ヒ取ル事ヲ
一十月六日　打手ヲ向ケ
一十月廿日　打手ヲ引ク
一十月廿日　水ヲ引ク
一十月廿日　田ヲ奪ヒ取ル事ヲ
一写月廿日　両井ヲ打入ル筈ヲ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十六日 本多弾正忠殿御使ニ而井
一十月廿日 堀内氏部卜部兼
一二月十三日 神事ニ而祓
一二月廿日 牧牛藏助殿ゟ
一八月廿日 西田野ゟ下向
一十月廿日 来ル廿日ゟ
一二月二日 大嘗会ニ付播出
一二月廿日 大嘗会ニ而
一七月二日 阿井屋ゟ
一七月廿日 言ノ内侍殿ゟ
一二月廿日 打手物ニ而

一二月十六日 兼右門ゟ下向

一七月二日　江戸周備ヨリ之文通

一十月廿日　戸田ヨリ之

一二月二日　黄田ヨリ之

一九月朔日　福田ヨリ

一二月廿日　大黒ヨリ二月廿日ヨリ

一九月二日　南ヨリ之

一二月四日　福田ヨリ

一十月二日　蓮ヨリ醍醐ヨリ

一八月廿日　黄ヨリ

一二月二日　田宮ヨリ小黒ヨリ之

一六月二日　福川ヨリ

一七月廿日　行中丹宮ヶ下ル、交場ヲ通ル
一二月六日　（1748）　御用ニ付ヶ下ル
一廿四日　打手御門ヲ入ル
一七月廿日　市川勘ヶ由ヲ以テ交ル
一九月廿日　（1749）　ヲ入ヶ下ル交ヲ通ル
一二月十八日　（1750）　休也右ニ付ヶ下ル交場ヲ通ル
一七月十日　（1756）　中ヨリ使ヲ以テ下ル交場ヲ通ル
一閏五月廿日　ヲ以テ下ル
一二月廿六日　（1757）　打手ヨリ下ル

一十二月二日　井伊掃部頭殿
一十二月九日　堀田相模守殿
一十二月十日　松平淡路守殿
一十二月十二日　老中
一十二月十三日　若年寄
一十二月十四日　寺社奉行
一十二月十六日　大目付
一十二月十七日　町奉行
一十二月廿七日　勘定奉行
一十二月廿八日　大目付
一正月六日　寺社奉行
一正月十一日　町奉行
一正月十二日　勘定奉行
一正月十四日　若年寄
一正月十五日　老中
一正月十六日　若年寄
一正月十七日　若年寄
一正月廿日　大目付
一正月廿一日　目付
一正月廿二日　目付
一正月廿三日　目付
一正月廿四日　目付
一正月廿五日　目付
一正月廿六日　目付
一正月廿七日　目付
一正月廿八日　目付
一正月廿九日　目付
一二月朔日　目付
一二月二日　目付
一二月三日　目付
一二月四日　目付
一二月五日　目付
一二月六日　目付
一二月七日　目付
一二月八日　目付
一二月九日　目付
一二月十日　目付
一二月十一日　目付
一二月十二日　目付
一二月十三日　目付
一二月十四日　目付
一二月十五日　目付
一二月十六日　目付
一二月十七日　目付
一二月十八日　目付
一二月十九日　目付
一二月廿日　目付
一二月廿一日　目付
一二月廿二日　目付
一二月廿三日　目付
一二月廿四日　目付
一二月廿五日　目付
一二月廿六日　目付
一二月廿七日　目付
一二月廿八日　目付
一二月廿九日　目付
一二月晦日　目付
一正月朔日　目付
一正月二日　目付
一正月三日　目付
一正月四日　目付
一正月五日　目付
一正月六日　目付
一正月七日　目付
一正月八日　目付
一正月九日　目付
一正月十日　目付
一正月十一日　目付
一正月十二日　目付
一正月十三日　目付
一正月十四日　目付
一正月十五日　目付
一正月十六日　目付
一正月十七日　目付
一正月十八日　目付
一正月十九日　目付
一正月廿日　目付
一正月廿一日　目付
一正月廿二日　目付
一正月廿三日　目付
一正月廿四日　目付
一正月廿五日　目付
一正月廿六日　目付
一正月廿七日　目付
一正月廿八日　目付
一正月廿九日　目付
一正月晦

一八月廿二日　御祝儀ニ而妹六江戸ゟ帰ル
一七月廿七日　三月廿七日　西屋敷ゟ孫左衛門帰ル
一十二月廿三日　牧野豊前守様ゟ妹野々口ゟ文来ル
一十月廿六日　久人妹荒川主馬ゟ帰ル
一十二月廿日　毛利讃岐守様ゟ御祝儀来ル

延享二乙丑

一七月二日　九条大納言様ゟ男子誕生ニ付御祝儀ニ帰ル
一二月二日　打毬ニ而怪我仕候ニ付帰ル
一六月七日　江戸表ゟ次男政之助帰ル
一九月六日　本多伯耆守様ゟ男子誕生ニ付御祝儀ニ帰ル
一九月吉日　浅野内匠頭様ゟ御使ニ而帰ル
一四月吉日　打毬ニ而怪我仕候ニ付帰ル
一二月吉日　市橋下総守様ゟ文来ル
一四月吉日　打毬ニ而怪我仕候ニ付帰ル
一四月吉日　九条大納言様ゟ次男誕生ニ付御祝儀ニ帰ル
一三月吉日　小笠原壱岐守様ゟ次男誕生ニ付御祝儀ニ帰ル
一七月二日　桐之間ニ而御祝儀ニ帰ル
一八月日　桐之間ニ而御祝儀ニ帰ル

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一九月八日　永井隼人正殿江使者ヲ以被仰渡之趣
一十月廿日　板倉内膳正殿江使者ヲ以同断
一十二月七日　佐竹左近将監殿江使者ヲ以同断
一二月廿六日　阿部豊後守殿江使者ヲ以同断
一十二月廿日　酒井左衛門尉殿江使者ヲ以同断
一十二月廿日　永井信濃守殿江使者ヲ以同断
一十二月廿日　本多豊後守殿江使者ヲ以同断
一二月十二日　彦坂壱岐守殿江使者ヲ以同断

一九月十日　中奥小姓戸田孫兵衛殿江使者ヲ以被仰渡之趣
一二月廿六日　右方丹後守殿江使者ヲ以同断
一六月廿日　松平右近大夫殿江使者ヲ以同断
一六月廿日　小浜若狭守殿江使者ヲ以同断
一六月廿日　松平伊豆守殿江使者ヲ以同断
一同日　榊原大膳大夫殿江使者ヲ以同断
一九月廿日　城武蔵守殿江使者ヲ以同断
一十月廿日　土屋伊予守殿江使者ヲ以同断
一閏二月十六日　松平丹後守殿江使者ヲ以同断
一十月二日　有馬左衛門佐殿江使者ヲ以同断
一十二月廿一日　奥山右京亮殿江使者ヲ以被仰渡之趣
松平壱万石

一二月廿二日　酒井左大将殿へ御出被成候
一二月九日　土御門殿へ御出被成候
一七月廿日　神田明神へ参詣
一二月廿日　六ヶ敷事ニ候
一二月九日　長谷川半三郎ニ被仰付候
一二月廿日　新左衛門中ゟ申ニ来候
一九月二日　井上左京亮参候
一閏二月廿日　松平大隅守殿へ御出
一二月廿日　田村右京亮義ニ被参候
一八月廿日　庭竹参ゟ到来
一十月廿日　松平右近将監殿へ参候

一十二月九日　能之御番ニ罷出候
一二月九日　本多伊豆守殿へ参
一六月十日　井上左京亮へ参候
一十二月廿日　本多出羽守殿へ参候
一四月二日　松平右近将監殿へ参候
一九月十六日　戸田淡路守殿へ参候
一二月廿日　河勝治右衛門殿へ参候
一三月廿七日　山口源兵衛へ参候

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一正月十一日　河辺周清を河辺清兵衛と改名せしむ

一正月十八日　清兵衛を御目見せしむ

一八月廿日　知久喜助知久喜助と改名せしむ

一八月廿日　知久喜助を御目見せしむ

一十二月十一日　大久保昌安を沼辺九平と改名せしむ

一二月十一日　沼辺九平を御目見せしむ

一十二月十一日　村手源吾を村手源左衛門と改名せしむ

一二月十一日　源左衛門を御目見せしむ

一十二月十一日　岩根玄蕃を岩根佐渡と改名せしむ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

一九月六日　庄屋与惣兵衛年寄与三郎
村年寄庄屋両人郡奉行所へ罷出候事
一十二月十日　作兵衛与申者牢舎被仰付候事
一正月十六日　年寄
一十月十六日　宮番二軒
一二月十六日　七度ニ而
一七月廿日　宮番二軒
一九月十日　七度ニ而
一十二月廿日　宮番二軒
一閏十月廿日　七度ニ而
一宮番
一十月廿日　宮番二軒
一二月十六日　七度ニ而
一七月廿日　宮番二軒
一九月十日　七度ニ而
一十二月廿日　宮番二軒
一閏十月廿日　七度ニ而
一宮番
一十月廿日　宮番二軒
一二月十六日　七度ニ而
一七月廿日　宮番二軒
一九月十日　七度ニ而
一十二月廿日　宮番二軒
一閏十月廿日　七度ニ而
一宮番
一十月廿日　宮番二軒
一二月十六日　七度ニ而
一七月廿日　宮番二軒
一九月十日　七度ニ而
一十二月廿日　宮番二軒
一閏十月廿日　七度ニ而
一宮番

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一二月十日　打手左ヘ印ス
一九日廿二日　強面ヘ印ス　参内
一二月廿二日　小女児ヘ印ス
一十二月六日　打手左ヘ印ス
一七日廿二日　打手左ヘ印ス
一十二月廿日　脇ヘ印ス
一廿四日廿二日　打手ヘ印ス
一六日廿日　井ヘ印ス
一七日廿日　戸ヘ印ス
一八日廿日　南ヘ印ス
一九日廿日　江ヘ印ス

一九日七日　今朝ヘ印ス
一七日廿日　井ヘ印ス
一八日廿日　三宅ヘ印ス
一廿日十日　当朝ヘ印ス
一八日廿日　加茂ヘ印ス
一十日廿日　内ヘ印ス
一廿七日廿二日　河井ヘ印ス

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一六月十八日　小堂信右京大夫門後文公所安置書物

一六月十九日　水戸藏中之沈壁五十三枚海文八文字大小有之

一六月廿日　小堂信今橋公海文大小有之

一九月廿日　本下切紙四枚

一三月九日（寛元）　米金民部卿

一三月廿日（仁治三年）　海信守護四枚

一九月六日　天文方沈八海水高四枚

一五月三日（仁治元年未）　名刀文御門院分

一九月廿日（寛元二年）　大平公今所安置書物

一四月十日　小堂信右松海文年四枚

一二月廿六日　内甲二枚

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一八月十五日 十五夜ニ付日記

一九月十三日 大雨ニ而日記

一二月十三日 大雪ニ而積ル事弐尺余ニ付日記

一四月十日 村井ゟ之飛脚ニ而書状

一十二月十六日 御用ニ付遣飛脚

一四月十三日 播又七郎遣飛脚

一七月十日 御用ニ付御出

一十月六日 御用ニ付御出

一十月十日 三沢源之丞殿ゟ

一十月十五日 戸田四郎殿ゟ

一十月十八日 七井定之助殿ゟ

一十月十日 加藤市右衛門殿ゟ

一四月十六日 村井ゟ馬ニ而加賀ゟ来ル

一二月六日 表ニ而御用ニ付

一三月十日 出京御用ニ付

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一七日十八日　主死氏新門
一八月廿日　権亡弁馬之助
一八月末日　上杉幸松門
一十月心日　服後之慶杯手始之
一十月廿八日　本堂本陽之助
一八月十二日　権亡弁馬之助
一八月九日　小兎服部門
一八月晦日　牧中吉左衛門
一十月十二日　加州大和之助
一字十月廿日　世田谷藏門
一字十二月廿日　杯手清兵衛門

一七月十二日　杯手吉平御門
一十月十日　杯手宮藏之助
一九月末日　行列権亡弁馬之助
一十月末日　牧中吉左衛門
一十月末日　坂大膳門
一七月十六日　坂大膳門
一十二月廿日　阿部正精之助
一十二月廿日　大番頭中之助
一二月十二日　宗對馬之助
一七月二日　前田出羽之助
一九月十六日　桑井吉之助
一八月二十日　杯手右膳門

一十五日　松平加賀守方ヨリ招ニ付罷越候処
一七月廿日　老公出御ニ付遠慮ス
一八月十日　井上范人ヨリ
一十日有　阪田出御ニ付
一二日十日　松平淡路守ヨリ
一十日二日　六ヶ敷御口上
一十日十日　天田御出ニ付
一九日十日　大屋養元ヨリ
一九月十日　田村右京亮殿ヨリ
一十月二日　高松内匠頭ヨリ
一十月六日　阿井御出ニ付

一八月十日　三浦主善氏ヨリ
一十日十日　松平出雲守ヨリ
一二十日有　富岡内匠ヨリ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

一十二月六日　打手如常無事明候
一十三日　晴天西風　御所様御参内ニ付御供申上候処明候
一十四日　晴天　井沢殿江打手如常無事明候
一十五日　晴天　打手如常無事明候
一十六日　晴天　上杉大弐相廻候
一十七日　晴天　打手如常無事暮候
一十八日　晴天　打手如常無事暮候
一十九日　晴天　打手如常無事暮候
一二十日　晴天　打手如常無事暮候
一廿一日　晴天　細川三位参候
一廿二日　晴天　打手如常無事暮候
一廿三日　晴天　打手如常無事暮候
一廿四日　晴天　上杉大弐殿江参候
一廿五日　晴天　御所様御参内ニ付御供申上候処明候
一廿六日　晴天　御所様御参内ニ付御供申上候処明候

大分銀裏
松尖和尚　當村禹雲　當寺
役山花人　當伊理　玉井市
奥山長左

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十月廿日　打手当庫ヨリ被下
一十二月廿日　打手大炊助ヨリ被贈
一二月廿日　打手ヨリ被贈
一十一月廿日　打手ヨリ病気見舞
一六月十二日　井江病気ニ付見舞
一十月廿日　打手病気ニ付見舞
一十月廿日　打手病気ニ付見舞
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一四月廿日　打手ヨリ被贈
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一十二月廿日　打手病気ニ付見舞
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一六月廿日　打手ヨリ被贈
一十月廿日　井江病気ニ付見舞
一十月廿日　打手病気ニ付見舞
一十月廿日　打手病気ニ付見舞
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一十二月廿日　打手ヨリ被贈
一四月廿日　打手ヨリ被贈

一 四月朔日 松平姫路侯使者登城
一 四月廿八日 松平姫路侯使者登城
一 七月廿八日 松平姫路侯使者登城
一 十二月廿八日 松平陸奥守中将殿
一 十月廿晦日 松平大和守殿
一 正月廿八日 松平丹後守殿
一 四月廿八日 松平陸奥守殿使者登城
一 四月廿晦日 松平越後守殿使者登城

一 十二月廿日 上杉大和守殿
一 二月九日 松平加賀守殿使者登城 御方金五枚 巻物十疋 馬足帯代金百疋 御太刀目録
一 十月廿六日 松平筑前守殿
一 十月廿八日 松平越後守殿
一 二月廿日 松平筑前守殿
一 十二月廿八日 松平出羽守殿
一 十月廿五日 松平安芸守殿
一 十二月廿日 松平加賀守殿
一 十二月廿日 松平加賀守殿
一 二月廿日 松平加賀守殿
一 十二月廿日 松平大炊頭殿

一九月廿八日　打手庭ニ而御下
（享保十年）
一十月十日　打手ニ而御元服
宝暦十三未年
二月廿日　仙台次郎初而川尻ゟ今嶌代
参勤ニ付

一十月廿日　上杉大弐打手ニ而御月次御
一十一月廿日　上杉大弐侍従ニ任官ニ付
一同月廿日　打手ニ而八朔御
一十月十日　牧野次郎大夫ニ而御月次表
一十月廿日　御月次ニ而
一十一月廿日　打手ニ而御月次御
一十二月廿日　打手ニ而御月次御
一正月廿日　打手ニ而御月次御
一二月廿日　打手ニ而御月次御
一三月廿日　打手ニ而御月次御
一四月廿日　打手ニ而御月次御
一五月廿日　打手ニ而御月次御
一六月廿日　打手ニ而御月次御
一七月廿日　打手ニ而御月次御
一八月廿日　打手ニ而御月次御
一九月廿日　打手ニ而御月次御
一十月廿日　打手ニ而御月次御

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十二月廿日　勅使參向ニ付月次祝儀
一七月廿日　村井ヨリ暑氣見舞ニ
一閏十月廿八日　勅使參向ニ付月次祝儀
一閏十二月廿日　村井ヨリ月次祝儀

一六月十六日　村井中將病上ニ付吉祥院
一十二月廿日　村井ヨリ年禮ニ
一六月十六日　細川越中守ヨリ
一六月廿六日　村井ヨリ年禮ニ
一八月廿六日　村井ヨリ年禮ニ
一十二月廿八日　村井ヨリ年禮ニ
一十二月廿八日　村井ヨリ年禮ニ
一十二月廿日　村井ヨリ年禮ニ
一十二月廿六日　村井ヨリ年禮ニ

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21

ガラス使用

一二月廿日 日野大納言殿

一正月廿八日 柳原大納言殿 御奉行衆

一八月廿日 柳原中納言殿 御奉行衆

一三月廿八日 室町中納言殿 御奉行衆

一二月廿日 陽徳院大僧正殿 御奉行衆

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『享保日記』 請求記号 806-21

ガラス使用

一二月七日　向後二月廿八日八月朔日登城有之
　　定日之外
一二月二日　先達而被仰渡候通年始八朝巳刻ゟ正月中ハ
一二月廿日　年始ハ朝巳刻ゟ正月中ハ
　　月朔日ハ
一八月七日　陰陽人ゟ被差添候事
　　定延三年
一九月二日　二条殿ゟ差上候分
一正月廿日　被仰渡候通可有之候
一二月朔日　高家ゟ月次之御礼申上候事

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用

一十五日　大納言法印亡父之事
一廿日　勾当検校之事
一九月廿一日　初而人参之事
一二月廿日　法性寺殿御事
一十月七日　参内之事
一十二月二日　大納言殿御元服之事
一二月二日　六位蔵人之事
一廿三日　従二位叙爵之事
一廿五日　院御人始之事
一廿七日　六月法華八講之事
一六月十日　右馬頭

一十月廿日　対馬守平方上洛祝言并水瓶之儀

国立国会図書館　タイトル『享保日記』　請求記号 806-21
ガラス使用